

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月7日
【四半期会計期間】	第92期第1四半期（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
【会社名】	豊田合成株式会社
【英訳名】	TOYODA GOSEI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 荒島 正
【本店の所在の場所】	愛知県清須市春日長畑1番地
【電話番号】	名古屋（052）400 - 5131
【事務連絡者氏名】	経理部長 後藤 敏夫
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号（岸本ビル） 豊田合成株式会社 東京営業所
【電話番号】	東京（03）3213 - 5681
【事務連絡者氏名】	東京営業所長 渡邊 克敏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第1四半期連結 累計期間	第92期 第1四半期連結 累計期間	第91期
会計期間	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 4月1日 至 平成26年 6月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成26年 3月31日
売上高 (百万円)	169,522	167,400	689,477
経常利益 (百万円)	9,814	9,234	45,847
四半期(当期)純利益 (百万円)	5,996	6,343	26,214
四半期包括利益または包括利益 (百万円)	15,033	5,968	40,628
純資産額 (百万円)	282,507	301,303	300,279
総資産額 (百万円)	516,137	535,516	541,877
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.34	49.01	202.54
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.33	-	202.53
自己資本比率 (%)	51.2	52.5	51.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第92期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、自動車部品事業において当第1四半期連結会計期間より、豊田合成メテオール(有)を連結の範囲に含めております。また、同社はMeteor Gummiwerke K. H. Baedje GmbH & Co, KGから資産を譲り受けており、それに伴いメテオールシーリングシステム(有)を連結の範囲に、エルエムアイカスタムミキシング(有)を持分法適用の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」につきましても、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

また、第91期有価証券報告書で開示しております、契約等のうち契約期間を延長した技術導入契約は、次のとおりであります。

契約会社名	相手方の名称	国名	契約内容	契約期間
豊田合成(株) (当社)	インティアオートモーティブ インテリアズオブアメリカ(株)	米国	ウレタンスプレー表皮に関する 特許・ノウハウライセンス	平成14年11月18日より 平成31年5月10日まで

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期の当社グループの売上高は、豊田合成メテオール(有)の新規連結による増収がりましたが、タブレット型情報端末向けLEDや携帯電話筐体の販売減少等により、1,674億円（前年同四半期比 1.3%減）と減収となりました。

利益につきましては、合理化に努めましたものの、自動車部品事業での国内およびタイの自動車生産台数の減少等により、営業利益は 82億円（前年同四半期比 17.5%減）、経常利益は 92億円（前年同四半期比 5.9%減）と減益となりました。なお、四半期純利益は確定拠出年金制度への一部移行に伴う制度改定益等の計上により、63億円（前年同四半期比 5.8%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車部品事業

国内の消費税増税後の需要減少やタイでの需要減退による自動車生産台数の減少がありましたものの、米州での自動車販売が堅調に推移したことや豊田合成メテオール(有)を新規連結したこと等により、売上高は 1,548億円（前年同四半期比 1.1%増）となりました。しかし、米州での新拠点の操業準備費用が先行したことや新興国の製品構成悪化等により、セグメント利益は 88億円（前年同四半期比 19.7%減）となりました。

オプトエレクトロニクス事業

タブレット型情報端末向けLEDの販売減少等により、売上高は 94億円（前年同四半期比 13.3%減）となり、セグメント損失は 7億円（前年同四半期のセグメント損失 7億円）となりました。

その他の事業

携帯電話筐体の販売減少等により、売上高は 30億円（前年同四半期比 42.8%減）となりましたが、歩留り向上等の原価改善により、セグメント利益は 1億円（前年同四半期のセグメント損失 2億円）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の金額は 72億円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月7日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	130,010,011	130,010,011	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	130,010,011	130,010,011	-	-

(注) 提出日現在発行数には、平成26年8月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	130,010	-	28,027	-	29,723

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 614,900	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 129,346,900	1,293,469	-
単元未満株式	普通株式 48,211	-	一単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	130,010,011	-	-
総株主の議決権	-	1,293,469	-

（注）「株式数」の「完全議決権株式（その他）」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が100株含まれております。また、「議決権の数」欄に、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 または名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合（%）
豊田合成株式会社	愛知県清須市春日 長畑1番地	550,600	-	550,600	0.42
株式会社中勢ゴム	三重県津市安濃町 内多400番地	64,300	-	64,300	0.04
計	-	614,900	-	614,900	0.47

（注）豊田合成株式会社の当第1四半期会計期間末日現在の「所有株式数の合計」は550,600株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,233	78,507
受取手形及び売掛金	114,821	112,921
有価証券	1,131	1,884
商品及び製品	16,948	16,367
仕掛品	8,410	10,266
原材料及び貯蔵品	23,224	25,100
繰延税金資産	4,513	5,841
その他	19,046	17,857
貸倒引当金	48	103
流動資産合計	279,281	268,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,511	71,691
機械装置及び運搬具（純額）	74,933	76,606
工具、器具及び備品（純額）	20,617	21,192
土地	23,821	23,948
建設仮勘定	20,329	21,274
有形固定資産合計	210,214	214,713
無形固定資産	2,291	2,760
投資その他の資産		
投資有価証券	37,444	38,500
繰延税金資産	9,236	7,349
その他	3,502	3,642
貸倒引当金	93	93
投資その他の資産合計	50,090	49,399
固定資産合計	262,596	266,873
資産合計	541,877	535,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,928	72,587
短期借入金	22,665	29,123
1年内返済予定の長期借入金	16,403	1,530
未払費用	28,208	33,515
未払法人税等	6,404	4,214
役員賞与引当金	174	49
製品保証引当金	768	612
従業員預り金	4,496	4,335
その他	13,085	17,538
流動負債合計	168,136	163,507
固定負債		
長期借入金	31,138	34,375
繰延税金負債	3,686	3,640
退職給付に係る負債	33,633	23,954
その他	5,003	8,734
固定負債合計	73,462	70,706
負債合計	241,598	234,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,027	28,027
資本剰余金	29,882	29,882
利益剰余金	219,142	221,438
自己株式	1,212	1,212
株主資本合計	275,840	278,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,611	9,114
為替換算調整勘定	43	1,595
退職給付に係る調整累計額	4,618	4,272
その他の包括利益累計額合計	3,949	3,246
新株予約権	128	116
少数株主持分	20,359	19,803
純資産合計	300,279	301,303
負債純資産合計	541,877	535,516

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	169,522	167,400
売上原価	147,925	147,016
売上総利益	21,596	20,384
販売費及び一般管理費	11,594	12,132
営業利益	10,002	8,251
営業外収益		
受取利息	127	163
受取配当金	233	341
持分法による投資利益	152	574
デリバティブ評価益	739	54
その他	509	704
営業外収益合計	1,762	1,838
営業外費用		
支払利息	157	300
固定資産除売却損	232	50
為替差損	1,101	251
その他	458	251
営業外費用合計	1,950	854
経常利益	9,814	9,234
特別利益		
退職給付制度改定益	-	539
負ののれん発生益	-	320
新株予約権戻入益	82	12
特別利益合計	82	872
特別損失		
投資有価証券評価損	25	-
特別損失合計	25	-
税金等調整前四半期純利益	9,871	10,107
法人税、住民税及び事業税	4,774	3,081
法人税等調整額	1,556	65
法人税等合計	3,217	3,147
少数株主損益調整前四半期純利益	6,653	6,959
少数株主利益	656	615
四半期純利益	5,996	6,343

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,653	6,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,843	500
繰延ヘッジ損益	103	-
為替換算調整勘定	6,464	1,728
退職給付に係る調整額	-	341
持分法適用会社に対する持分相当額	176	103
その他の包括利益合計	8,379	991
四半期包括利益	15,033	5,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,708	5,650
少数株主に係る四半期包括利益	1,325	318

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間より、豊田合成メテオール(有)を連結の範囲に含めております。なお同社は Meteor Gummiwerke K. H. Baedje GmbH & Co, KGから資産を譲り受けており、それに伴いメテオールシーリングシステム(有)を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間より、Meteor Gummiwerke K. H. Baedje GmbH & Co, KGからの資産譲り受けに伴い、エルエムアイカスタムミキシング(有)を持分法適用の範囲に含めております。

(3) 連結子会社の決算日の変更

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった(株)T G イノアックインドネシアは、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更により平成26年1月1日から平成26年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更等)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の算定方法を変更しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(退職給付制度の変更)

当社および一部の連結子会社は、平成26年4月1日に確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行したことにより、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行いました。

これに伴い、当第1四半期連結累計期間の特別利益として539百万円を計上しております。

(四半期連結貸借対照表関係)
国庫補助金による圧縮記帳累計額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
建物及び構築物	103百万円	103百万円
機械装置及び運搬具	1,317百万円	1,317百万円
工具、器具及び備品	7百万円	7百万円
計	1,427百万円	1,427百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	9,362百万円	9,054百万円
のれんの償却費	11百万円	5百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月19日 定時株主総会	普通株式	3,364	26	平成25年 3月31日	平成25年 6月20日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月20日付で平成25年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行いました。この結果、前第1四半期連結累計期間において利益剰余金が3,364百万円減少しております。

これにより、前第1四半期連結会計期間末における利益剰余金は202,290百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月19日 定時株主総会	普通株式	3,883	30	平成26年 3月31日	平成26年 6月20日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年6月20日付で平成26年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が3,883百万円減少しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における利益剰余金は221,438百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	自動車部品 事業	オプトエレクト ロニクス事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	153,207	10,917	5,397	169,522	-	169,522
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	1	5	6	6	-
計	153,207	10,918	5,402	169,528	6	169,522
セグメント利益 または損失()	10,986	765	218	10,002	-	10,002

(注)セグメント利益または損失()の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	自動車部品 事業	オプトエレクト ロニクス事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	154,850	9,463	3,087	167,400	-	167,400
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	2	4	6	6	-
計	154,850	9,466	3,091	167,407	6	167,400
セグメント利益 または損失()	8,821	766	196	8,251	-	8,251

(注)セグメント利益または損失()の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	46円34銭	49円1銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	5,996	6,343
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	5,996	6,343
普通株式の期中平均株式数(千株)	129,408	129,437
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	46円33銭	-
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	16	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要	-	-

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式は存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 7日

豊田合成株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	西川 浩司
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中嶋 康博

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている豊田合成株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、豊田合成株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。